

# 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

令和6年度

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月20日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	1人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、受け入れ前のミーティングを行い支援内容の共有・確認をしていく。</li> <li>担当利用者を定期的に変更し、新規利用者の担当が偏らないようにする。</li> <li>利用者や家族の不安等は見ただけでは把握しにくいので、些細な不安を言葉等で発してもらえるようにコミュニケーションを多く持ち、信頼関係を築く。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>利用前の情報共有をはじめ、利用後の本人の状況や家族の状況について、日々のミーティング時に職員間で 情報共有を図り、不安を感じさせないよう環境面、利用者間、職員間の関係構築に取り組んだ。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6			7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		7			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	4			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6	1		7

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に直接、不安や困っていることを聞くようにしている。過ごしやすい環境を用意するようにしている。</li> <li>訪問送迎時にご家族様とのコミュニケーションを心がけている。</li> <li>職員同士の声掛けや気遣いができている。</li> <li>細かくケースに記入するようにしている。</li> <li>利用前に情報をチェックし、支援方法を確認することでできている。</li> <li>送迎時には世間話するようにしている。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初対面でのコミュニケーションをどのようにとったらいいかわからず手探り状態の時がある。</li> <li>送迎する機会が少なく、家族と会えないことが多い。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用開始前から利用に至るまでの情報共有については今後も必要な情報を適切に職員で共有できるように取り組んでいく。</li> <li>本人がまだ慣れていない時期は不安や孤独感を感じさせないように、話ができる環境を整え、「明日も来たい」と思ってもらえるような雰囲気を作っていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月20日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	2人	人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>定期的に利用者の担当を変え、ケアプランを確認する機会を作る。</li><li>サービス内容を実践し、気づきや改善策をケアプランに追記していく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>ケアプランに沿った支援というのが、いまいちどういったことを支援すればよいのか分からないスタッフもいた。そのため同じ支援になってしまうことがあった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	2		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3	3		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4	2		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	2	3		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>利用者と2人で話すことで、普段汲み取れない思いを知ることができる</li><li>会議等で課題、計画の実施状況を振り返ることができている。本人の状態に合わせて目標を変えている。</li><li>時間がある時はケアプランを確認している。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>「～いたい事」が単発的な支援になってしまう時がある。</li><li>「～したい事」も本人にその気がないのにしてもらっていることがある。</li><li>ケアプラン変更時など、新しい情報を確認しない時がある。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>ケアプラン更新時には評価に合わせ、その後のプランについて申し送りや書面だけではなくミーティングを設ける。その際のような支援をしたらよいか、職員全員で共通認識を持ち支援していく。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月20日

3. 日常生活の支援

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	4人	1人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員1人1人が利用者を知る工夫をし、知り得た情報等は記録に残したり、会議等で共有していく。利用者の望む暮らし方を見つけそれに応じた支援を考えていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録に残さず、会話の中だけで終わってしまうこともあり、利用者の情報を知っている職員知らない職員がいた。</li> <li>接し方や会話などを工夫し、利用者を知るよう努めた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3	3	1	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	4			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		5	2		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		7			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	4	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者や家族との会話や表情から変化に気づけるようにしている。</li> <li>不安に思っていることは傾聴し不安軽減につなげるようにしている。</li> <li>認知症の事を勉強し利用者寄り添い方が分かり様になった。</li> <li>以前の暮らしを会話から聞き出すように努力している。</li> <li>男性が苦手な利用者に対して入浴について配慮できている。</li> <li>体調変化等スタッフでその場で情報共有している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>体調変化があったことに対して、個人で判断してしまったことがある。</li> <li>記録、ケースでの確認不足ミスが多かった。</li> <li>本人が本当に思っている本意をなかなか引き出すことが難しいときがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>些細な内容でも口頭だけではなくケースに記入し情報共有に努める。</li> <li>仕事に入る前にケースを確認し、利用者の状況を把握する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月20日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	3人	2人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回出来なかった社会資源についての勉強会をする。</li><li>・地域との関わりを深めるにはどんなことが出来るかをミーティング時に職員全員で考え、地域密着型サービスの役割がはたせるようにしたい。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会資源についての勉強することができ、資源とはなにか理解することができた。</li><li>・</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		4	3		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	2		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	2		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	2	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・家族や介護者、利用者との会話から自宅での過ごし方や家族との関係が継続できるように支援している。</li><li>・家族に日頃の様子を伝えたり、携わっていただけることはお願いし関係が継続するように支援している。</li><li>・地域のデイホームに参加することでできている。</li><li>・移動販売を利用し始めることができた。</li><li>・地域の方が、利用者に対して「元気か。」と声をかけてくれる。</li><li>・社会資源について知ることができた。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・本人のADL低下によってしたい事、やりたい事ができなくなり関りが切れてしまった。</li><li>・各地域の民生委員を把握できていない。</li><li>・家族がいると思ひ、施設としてどこまで支援していいのか迷ってしまう。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・新規利用があった時は、利用者や家族の同意のもとで、その地域の民生委員に挨拶に行く。その情報を他職員にも共有していく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 20 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	7 人	人	人	7 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、利用者が必要としているサービスは何かを把握し、柔軟なサービスを提供する。(体調の変化で「泊まり」や「訪問」に切り替える等)</li><li>本人を支える家族や支援者の困りごと、不安に対する支援ができるように努める。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>本人の体調に合わせて、サービスの変更を提供することができた。</li><li>不安に対し、すべてを取り除いていくことは難しいができる限りで支援することができた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	1	4		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		7			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	7			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>本人、家族の要望や状況に応じ、適宜に通い・訪問・泊りを提供できている。</li><li>買い物に行けない方へは移動販売車を利用している。</li><li>送迎時に家族の不安があれば聞くようにしている。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>身体の変化だけではなく、気持ちの変化に気づいているか不十分なことがある。</li><li>家族と利用者、スタッフ間での気持ちの認識の違い・共有がうまくできていないことがあった。どこまでを共有したらいいか悩む時があった。</li><li>資源の利用できているが、地域の方の名前など把握できていない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・「通い」「訪問」「宿泊」の柔軟な利用は出来ているが、その必要性を職員一人一人がしっかり理解する。それ以外の柔軟な支援とは何かも考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日

6. 連携・協働

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナも第5類になり、地域の方が参加できるイベントを企画する。</li><li>・サービス機関や自治体等の研修や会議には管理者・ケアマネージャーが主に参加するが、参加後に資料の回覧や職員会議にて情報の共有を行う。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・小規模ではあるが地域の方向けのイベントを開催することができた。</li><li>・自治体の会議には参加できていない。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		1	4	2	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	2	3	7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		2	2	3	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		5	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナも5類になり、近くの保育園児との交流も増えてきた。</li><li>・小規模ではあるが、地域に向けてのイベントを開催することができた。</li><li>・包括の会議に職員も参加することができた。</li><li>・地域のデイホームに継続し参加できている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の団体の把握ができていない。</li><li>・事業所が地域のために何が出来るか、また地域へのイベント参加のしかたについて職員が話し合う場が設けられなかった。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度につき、地域の方に参加していただけるイベントを具体的に企画する。</li><li>・地域との連携の必要性を職員で話し合い理解する。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 1月 20日

7. 運営

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、職員会議等で職員が意見を言える場を設けていく。</li> <li>SNS や広報誌を活用し、施設内の様子を知ってもらえるように発信していきたい。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>少しずつ職員会議棟の場での発言が増え、自由に発言できている。</li> <li>年2回の広報誌、併設施設との各月でSNSへ日々の様子を投稿できている。今後も継続していきたい。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	2	2	2	1	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	2	3		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		3	4		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？			7		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情、要望等があった場合は、ミーティングなどで共有し対応している。</li> <li>広報誌に加え、SNSの活用について話し合い活用を始めた。</li> <li>意見、苦情があったときは報告している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と何かをしようといたところまではいかない。地域に対して事業所は何ができるかなどの話し合いの場がなかなかもてない。</li> <li>職員それぞれ苦情についての認識の違いがあるため、申し送りが不十分になり対応が遅れた。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事に積極的に参加し、小規模多機能の役割をもっと知ってもらおう。</li> <li>苦情マニュアルの内容を見直しする。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 1月 20 日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	1人	人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の担当を決める。職員が講師になることで再度勉強しスキルアップにつなげていきたい。</li><li>職員が興味のある研修への参加、必要と思う研修への参加をしていきたい。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>研修計画にそって、研修することができた。今後も職員での学びの場を設けていきたい。</li><li>職員自ら、興味のある研修に参加することができた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6			7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	1		7
③	地域連絡会に参加していますか			2	5	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>研修計画のもと、内部研修を実施することができた。職員が講師となり資料を作成することで自身のスキルアップにも繋がっている。</li><li>自分の興味のある研修に参加することができた。</li><li>施設外研修は、それぞれ職員が興味のあるものへ参加することができた。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>リスクが発生してからの対応はもちろんのこと、普段から危険予知に対する意識を持つことが不十分に思う。ヒヤリハット報告書もだんだん提出が少なくなっている。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、内部研修を実施していく。さらに専門性向上に向け外部の研修への参加をする。</li><li>どこに危険が潜んでいるかを常に考え予測していく。研修も交え意識して業務に取り組む。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 1月 20日

9. 人権・プライバシー

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	人	人	7人

前回の改善計画	・不適切ケアや身体拘束・虐待防止については、問題点や気になることがあれば勉強会を通してチームで考え利用者が安心して生活できる環境づくりを提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・虐待については定期的に研修できている。その際、何が虐待や不適切ケアなのか話し合うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4	3			7
②	虐待は行われていない	3	4			7
③	プライバシーが守られている	3	3	1		7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	4			7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	4			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・定期的な研修をし、虐待防止につなげている。 ・SNSや広報誌での写真の掲載について、年度初めに同意書を取り直し確認している。 ・なれなれしい態度が常態化しないように、自分や他スタッフが間違っていると感じた時はその都度注意するようにしている。 ・必要と思える利用者には成年後見制度を利用している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員間の情報共有時など、職員同士の会話の場所や声量が適切でない場面があった。 ・成年後見制度の研修を受けていないため、制度の理解が出来ていないスタッフもいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者のプライバシーや尊厳が守れるよう努めとともに、自分たちの立ち振る舞い等を意識しながら業務に取り組む。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 国見慈光会	代表者	出見敏枝	法人・ 事業所 の特徴	福井市の国見地区は人口1100人程度、高齢化率は41%と小さい地域で、高齢化の割合が非常に多い地域である。登録利用者の7割は国見地区の利用者である。地域との結びつきが非常に強い事業所である。その為、利用者さ同士古くからの知り合いであることも多く、サロンのような雰囲気に近い。また風光明媚な場所に立地しており、豊かな自然の中で、家庭的な温かさを大切にしている。食事は、冷凍食品などはほとんど使用せず、旬のものを取り入れ手作りしている。その為、細かいニーズに柔軟に対応できることが強みである。なじみの地域で認知症煮や障害を持って、その人らしい生活が継続できるよう職員全員で取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホーム ひびきの家	管理者	濱崎由佳里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	1人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	入職した職員に対しては、サービス評価について時間をかけて説明を行い、サービス評価必要性を理解して取り組めるようにする。	今年度は新職員の入職者がなかった。これからも、引き続き継続していきたい。	取り組みの内容を分析し、さらなる改善の検討や課題が抽出されていると思います。 何故できていないのかを振り返り、原因を突き止め職員で共有していくことが大切ですね。	・個人のスキルアップのための研修会への参加や定期的な勉強会（実技や具体的な事例を用いた実践的な勉強会）を実施し、質の向上を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	安心できる空間、居心地の良い空間を模索し事業所内のレイアウトや施設外観周りの清掃にも気を付ける。	季節に応じたの花や、壁飾りなど意識し取り組んでいる。	事業所内はいつも明るく清潔で過ごしやすい空間になっていると思います。職員も色々なアイデアを出し、楽しく過ごせる工夫が出来ている。	・安全面にも配慮しながら、常に整理整頓・美化・衛生面を心掛け、より快適で居心地の良い施設作りをする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域でされているイベントや行事を把握し、参加可能なときは利用者と一緒に参加し、地域との交流を深めていく。 事業所としても何ができるか考えていく。	地域に向けた取り組みについて話す機会を作ることができなかった。イベント参加については今後も継続していく。	少しずつイベントが再開できるようになり嬉しく思います。地域の方が、気軽に立ち寄れる場所になると良いですね。	・小規模としての役割を再度周知できるような活動をしていきたい。その中で地域のイベントにも参加していけるようにしたい。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域資源の情報を共有し、利用者に必要な事、してみたいことがあるか一緒に考え支援につなげていきたい。</p>	<p>資源について勉強会をし、職員の中でも知識を深めることができた。必要な利用者には有効活用できている。</p>	<p>利用者以外でも地域で困っている人はいると思うので、そのような方についても相談できる場であれば良いと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者と地域の方と触れ合える企画やイベント等に参加・交流ができる場を提供していただける様に考えていく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議の「その他」の時間で、地域の中で心配なことや困っている事はないか確認していく。事例があれば意見交換や検討をしていく。</p>	<p>地域の過疎化について意見があった。事業所として何ができるかの検討まではいかなかった。</p>	<p>運営推進会議の場では、月ごとの活動報告や利用者の状況等を知ることができている。 施設としては地域情報の交換の場として幅広い意見を伺いたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。</li> <li>・地域の情報収集の場にしながら、何か支援できることがあれば協力していく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>引き続き、備蓄の管理を行っていく。火災訓練だけではなく、災害を想定した訓練にも力を入れていく。</p>	<p>今年度は地震想定訓練も行うことができた。訓練時、緊急連絡の方法について課題が残った。</p>	<p>自治体と連携して防災に取り組む事が出来ていると思います。今後もいざという時に備え、訓練等を実施してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じ、業務継続計画の内容を見直し、備蓄品や非常食の点検を定期的に行い、有事に備えていく。</li> <li>・福祉避難所として役割を職員全体で共有する。</li> </ul>

